



SDR 定期点検要領

目次

シャーシ

かじとり装置	1
走行装置	1
緩衝装置	2
制動装置	3
動力伝達装置	4

原動機

本体	5
潤滑装置	5
燃料装置	5
冷却装置	5

電気、その他

電気装置	6
灯火装置	6
その他	6

付録

点検記録簿	7
部品交換記録簿	8
部品別点検記録簿 1/2	9
部品別点検記録簿 2/2	10
Racer SDR Maintenance Interval 1/2	11
Racer SDR Maintenance Interval 2/2	12

ご注意	13
-----	----

シャーシ

かじとり装置

点検項目	点検時期	備考
ハンドル関係	曲がり、緩み、ガタ	12ヶ月毎 ハンドル取り付けボルト2.0kg・m 位置決めボルト0.9kg・m グリップエンド3.0kg・m
	操作具合	12ヶ月毎 引っかけり、ガタつき等 Fジャキアップ後、左右にハンドルを切り点検 引っかけり、動きの渋い物はステアリングベアリング、レースの点検、調整、交換 0/Hは1万kmを目安に
	左右切れ角	12ヶ月毎 左右各35° タンクとハンドルの隙間が左右均等か確認 ハンドルストッパーの損傷確認
アンダーブレーク、ハンドルクラウン	損傷	6ヶ月毎 曲がり、亀裂
	取り付け状態	6ヶ月毎 Fジャキアップ後、Fフォークを前後に動かし確認 ハンドルクラウン(トップブリッジ)取り付けボルト5.5kg・m インナーチューブ部分2.0kg・m ステアリングフィッティングナット3.8kg・m 1/8戻し アンダーブラケット・インナーチューブ部分3kg・m

走行装置

点検項目	点検時期	備考
ホイール	タイヤの空気圧	運行前 一般道 F 1.75kg/cm ² R 2.00kg/cm ² 高速道 F 2.00kg/cm ² R 2.25kg/cm ² 仕様 F 90/80-17 46S R 110/80-17 57S
	タイヤの亀裂損傷 異物の噛み込み	運行前 タイヤ全体の目視点検
	タイヤの摩耗状態	運行前 残溝限度F・Rとも0.8mm以上(安全運行上2mm以下は交換)
	取り付け状態	6ヶ月毎 Fアクスルボルト 7.5kg・m アクスルホルダ 2kg・m Rアクスルナット 11kg・m(メイン) Rアクスルナット 4.5kg・m(サブ)
	曲がり、振れ、損傷	12ヶ月毎 振れ F・Rとも縦・横方向に2mm以内(基準外は交換) F・Rアクスルシャフトの曲がり0.25mm以内
	ホイールベアリング	12ヶ月毎 ガタ、ゴロつきが有る物は交換 Rはクラッチハブ内にも有り オイルシール、ホイールカラーも併せて点検 ホイールベアリング内のグリスは1万kmを目安に交換

緩衝装置

点検項目		点検時期	備考
ばね	損傷、自由長	12ヶ月毎	F スプリング自由長373.5mm 使用限度368mm Rは基本的に非分解なので目視点検
ショックアブソーバー	損傷、油漏れ、動作	12ヶ月毎	F フォーク・オイルは1万kmを目安に交換 オイルグレードG10、オイル量255cc、 油面：最圧縮時に102mm 油量より油面を優先 Rは非分解なため一般的な環境ではO/H不可能(専門業者有り) 1万kmを目安にO/H 締め付けトルク4.0kg・m
サスペンションリンク	損傷 取り付け状態 動作	12ヶ月毎	Rショックを外しガタ、動作確認 O/Hは1万kmを目安

制動装置

点検項目		点検時期	備考
レバー、ペダル	遊び	6ヶ月毎	ブレーキレバー先端の所で2～5mm ブレーキペダル先端の所で13～15mm ブレーキペダル取り付け高50mm
	踏みしる、引きしる きき具合	運行前	ブレーキの引きしる過多の場合はフルード内へのエア混入、フルード漏れ、ディスクとパッドの隙間、ディスクの曲がりなどを点検 それでも解決しない場合はマスターシリンダー・カップ、キャリパー・シール、ブレーキホース交換
ホース	損傷、漏れ 取り付け状態	6ヶ月毎	ホースが余計な所へ接触していないか確認
リザーバータンク	液量	運行前	LOWERレベル以上 フルードが減る＝漏れ又はブレーキパッドの摩耗 (後者が理由で減るのは正常) フルードは吸水性があるため長期保管は不可能 開封後1年を過ぎた物は使用を避けるべき また塗装を冒すため塗装面につたフルードは速やかに濡れ雑巾で拭き取るか水を掛けて洗浄する。
ブレーキ・ディスク	ディスクとパッドの隙間	12ヶ月毎	ブレーキ本体はディスクブレーキのため遊び調整は出来ない 隙間が多い又は少ない場合はキャリパーのO/H 判断基準:ディスクにパッドが僅かに接していること 引摺トルク5kg以下
	パッドの摩耗	12ヶ月毎	標準厚さ5.5mm 使用限度0.5mm
	ディスクの摩耗、損傷	12ヶ月毎	標準厚さ5.0mm 使用限度4.5mm ブレーキ・ディスクの振れ0.5mm以下 ブレーキ・ディスク取り付けボルト 2kg・m
キャリパー	損傷 取り付け状態	12ヶ月毎	キャリパーピストンの側面に錆が発生しているものはキャリパーピストン及びキャリパーピストン・シールキット交換 キャリパー取り付けボルト 3.5kg・m
定期交換部品	ブレーキフルード		1年毎 DOT3以上、DOT4を推奨
	マスターシリンダー カップキット		2年毎
	キャリパーピストン シールキット		2年毎
	ブレーキホース		4年毎

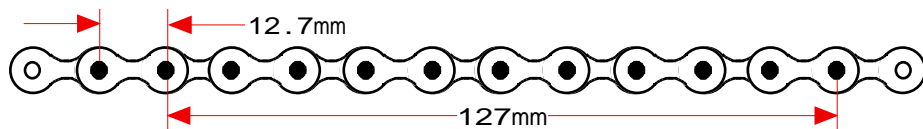
動力伝達装置

点検項目		点検時期	備考
クラッチ	遊び	6ヶ月毎	クラッチレバー先端の所で10～15mm クラッチワイヤーの点検、調整、清掃、給油
	作用	6ヶ月毎	滑り、切れ不良、接続不良等 フリクションプレート標準厚2.9～3.1mm 使用限度2.8mm 1枚単位では測定誤差が大きいため全数まとめて測定(要脱脂) クラッチプレート歪み0.05mm以下 クラッチスプリング標準自由長32.0mm 使用限度30.0mm
トランスミッション	油漏れ 油量	運行前	点検窓より点検しHi～Lo間にあること(バイクは垂直) オイル交換は6千km走行又は1年毎を目安に ヤマハギアオイル又は安価な4stエンジンオイル(SAE30～40) 交換容量750cc
	操作機構のガタ、動作	12ヶ月毎	ボルト、ナットの緩み確認 動きに渋さがないか確認 シフトペダル、ピロボール部分は6ヶ月毎に給油
ドライブチェーン	摩耗、損傷、伸び 取り付け状態	6ヶ月毎	Oリング破損、チェーン固着、摩耗、ガタ等確認 10リンクあたり119.8mm以上の物は交換* ¹ ドライブチェーン仕様 RK428SH0 132リンク 遊び15～20mm(遊び点検は可能な限り運行前に行う) 測定位置：サイドスタンド使用時に前後スプロケットの中間位置 給油：雨天走行後又は500km走行毎 チェーン交換時は前後のスプロケットも同時交換 Rアクスルナット 11kg・m(メイン) Rアクスルナット 4.5kg・m(サブ) キャリアブラケット締付ボルト5.0kg・m
スプロケット	摩耗、損傷、 取り付け状態	12ヶ月毎	ドライブスプロケット取り付けボルト1.0kg・m 16T ドリブンスプロケット取り付けナット3.2kg・m 43T

*¹チェーンサイズ428とは図のように1リンク間のピッチが4/8inch(12.7mm)になり、10リンクの距離は127mmが設計値になります。新品を127mmとした場合、使用限度(103%)は約130.8mmになります。130mmを越えたら交換しましょう。SDRの場合132リンクですのでチェーン全体では50mmも伸びることになります(伸びというより接続部分の摩耗です)

測定はチェーン清掃・給油後、ドリブンスプロケットにウエス等を噛ませチェーンにテンションを掛けてから測定します。少々手間ではありますが、調整時もテンションを掛けた状態でアクスルナットを締めることにより正確な調整が行えます。

油分が抜けたチェーンは摩耗が一気に進みます。駆動ロス(結構大きい)を少しでも減らすためにチェーンはマメに点検、清掃調整、給油を行って下さい。



原動機

本体

点検項目	点検時期	備考
かかり具合、異音	6ヶ月毎	判断基準：キック4～5回以内にかかること
低速、加速の状態	6ヶ月毎	アイドルリング1,350rpm
排気の状態	6ヶ月毎	極端に白煙が出ないこと、排気漏れがないこと
エアクリーナ・エレメントの状態	6ヶ月毎	塗布するオイルは2stエンジンオイル又はSAE30～40の4stエンジンオイル

潤滑装置

点検項目	点検時期	備考
油漏れ	6ヶ月毎	オイルタンク～オイルポンプ間 オイルポンプ～マニホールド間に油漏れがないこと
油量	運行前	走行中警告灯が点灯しないこと オイルタンクにて残量を点検(確実) タンク容量約0.9L
オイルポンプ	6ヶ月毎	オイルポンプ本体より油漏れがないこと オイルポンプワイヤーの点検、調整、給油

燃料装置

点検項目	点検時期	備考
燃料漏れ	6ヶ月毎	
スロットルバルブ、スタータプランジャーの状態	12ヶ月毎	燃料タンクの状態、外付け燃料フィルターの有無にもよりますが キャブレターO/Hは半年毎 アクセルワイヤー点検、調整、給油は半年毎
燃料フィルタの状態	6ヶ月毎	キャブレター燃料取り入れ口部分のフィルターも点検清掃
燃料の量	運行前	ガソリンタンク内防錆のためにも常に満タンに ガソリンタンク容量約9.5L(予備約3.5Lを含む)
燃料ホースの交換		4年毎(定期交換部品)

冷却装置


点検項目	点検時期	備考
水量	運行前	リザーバータンクHi～Loの間にあること
水漏れ	運行前	
ラジエターキャップの機能	12ヶ月毎	開弁圧0.75～1.05kg/cm ² パッキンに亀裂損傷のあるものは交換
冷却水の交換		2年毎(定期交換部品) 冷却水総量0.92L LLCの原液を希釈する場合は30%以上50%以下の濃度で使用
冷却水ホースの交換		2年毎(定期交換部品)

その他

Y.P.V.Sバルブ点検・清掃 0.5万km毎 ピストン、ピストンリング点検・交換 0.5万km毎
 リードバルブ点検・交換 0.5万km毎 クランクシャフト点検・交換 1.5万km毎
 (安全運行上という意味ではありません)

電装、その他

電気装置

点検項目		点検時期	備考
点火装置	スパークプラグ	6ヶ月毎	プラグギャップ0.7～0.8mm プラグ仕様 BR9ES又はBR8ES N G K W27ESR-U又はW24ESR-U デンソー (#9、#27が標準)  中心電極が右のように丸まってきたら交換時期 点検、清掃は500km走行毎、交換は2千km走行毎
	液量	6ヶ月毎	Upper～Lower間にあること 補充は蒸留水を使用 バッテリー仕様：GM3-3B 12V3Ah 補充電は0.3A以下
バッテリー	液の比重	12ヶ月毎	液温20 時に比重1.280満充電 1.080完全放電
	ターミナル部分の接続状態	12ヶ月毎	錆は真鍮ブラシで除去。錆はグリスを薄く塗布することで防げる ブリーザーパイプの機能も併せて点検
電気配線	接続部分の緩み 損傷	12ヶ月毎	ヒューズの腐食も確認(バッテリーが近いため) ヒューズ仕様：15A

灯火装置

点検項目		点検時期	備考
方向 灯火 指示 装置	作用	6ヶ月毎	
	点滅具合 汚れ、損傷	運行前	前照灯、制動灯、尾灯を含む 方向指示器の点滅は60～120回/分 電球仕様：前照灯45W/45W(H4ハロゲン) 制動灯、尾灯21W/5W 方向指示器10W×4 SDRで使用されている電球は一般的なものではないW数の物が 多数使われています。購入の際はW数要確認

車体各部の給油

点検項目		点検時期	備考
車体各部の給油	Fエンジンブラケット	6ヶ月	二硫化モリブデン・グリスの塗布(マフラー取り外しの必要有り)
	シフトリンケージ	6ヶ月	リチウム・グリス又はスプレーグリス
	フットレスト摺動部	6ヶ月	リチウム・グリス又はスプレーグリス
	キッククランク摺動部	6ヶ月	二硫化モリブデン・グリス (キックアーム)
	Fブレーキレバー Rブレーキペダル クラッチレバー 各摺動部	6ヶ月	リチウム・グリス又はスプレーグリス
	サイドスタンド摺動部	6ヶ月	リチウム・グリス又はスプレーグリス
	グリス塗布時は古いグリスを除去後行って下さい。はみ出たグリスはホコリなどを吸着しますので綺麗にふき取る必要があります。その他スイッチの接点なども給油します(防錆) 雨天走行が多い場合は給油間隔を短くします。		

点検記録簿

異常なし	レ	調整	A	交換	×	締付	T	清掃	C	点検実施日	点検時走行距離
該当無し	/	修理		分解		給油	L	省略	P		km

点検項目	メモ	点検項目	メモ
かじとり、走行、緩衝装置			
ハンドルの曲がり、緩み	R L	Rサスペンションばね状態	
操作具合		Rサスペンションの状態	
左右切れ角	R L	Rサス・リンケージの状態	
Fフォーク取り付け状態	R L	タイヤの空気圧	F R
トップブリッジ状態		タイヤの状態	F R
アンダーブラケットの状態		タイヤの残溝	F R
Fサスペンションばね状態	R L	ホール取り付け状態	F R
Fサスペンション状態	R L	ホイール曲がり、振れ	F R
スイングアームの状態		ホイールベアリングの状態	F R
制 動 装 置			
ブレーキレバーの遊び		ディスクとパッドの隙間	F R
ブレーキペタルの遊び		ディスクの状態	F R
ブレーキレバー引きしろ		キャリバーの液漏れ	F R
ブレーキペタル踏みしろ		キャリバーの状態	F R
ブレーキ液量	F R	マスタシリンダーの液漏れ	F R
ブレーキパッドの状態	F R	マスタシリンダーの状態	F R
ブレーキホースの状態	F R		
動力伝達装置			
クラッチレバーの遊び		ミッション操作機構の状態	
クラッチの作用		ドライブチェーンの状態	
ミッションオイルの量、質		スプロケットの状態	Drive Driven
原 動 機			
エンジンの掛かり具合		エンジンオイルの残量	
低速・加速の状態		オイルポンプの状態	
排気の状態		ラジエターの水量、状態	
エアクリーナの状態		ラジエターキャップ状態	
スロットルバルブの状態		ラジエター水漏れ	
スタータープランジャ		ラジエターホースの状態	
燃料フィルタの状態		リードバルブの状態	
燃料ホースの状態		Y.P.V.Sバルブの状態	
燃料漏れ			
電気、その他			
スパークプラグの状態		チャンバー取り付け状態	
バッテリー液量、比重			
バッテリー端子の状態			
配線の接続、損傷			
方向指示器の状態			
灯火装置の状態			
シャーシ各部の給油状態			

部品別点検記録簿 1/2

点検項目	基準	測定値	判定	使用期間、使用距離	備考
シリンダーヘッド歪み 亀裂、損傷	0.03mm以下		OK/NG OK/NG		
シリンダー内径 内径差限度 歪み 内壁部分の状態	66.00mm 0.05mm以内 0.03mm以下		OK/NG OK/NG OK/NG OK/NG		
ピストン外径 S.T.D オーバーサイズ1 オーバーサイズ2 亀裂、損傷	65.935 ~ 65.960mm 66.185 ~ 66.210mm 66.435 ~ 66.460mm		OK/NG OK/NG		
ピストンピン孔内径	16.004 ~ 16.015 使用限度16.035mm		OK/NG		
ピストンピン外径 摩耗、損傷	15.995 ~ 16.000mm 使用限度15.975mm		OK/NG OK/NG		
ピストンリング合口隙間 損傷	Topリング0.30 ~ 0.45mm 2ndリング0.30 ~ 0.45mm 使用限度0.8mm		OK/NG OK/NG OK/NG		
サイドクリアランス	Topリング0.02 ~ 0.06mm 2ndリング0.03 ~ 0.065mm 使用限度0.10mm		OK/NG OK/NG		
ピストンクリアランス	0.060 ~ 0.065mm		OK/NG		
クランクシャフト振れ コンロッド小端部振れ クランクシャフト組み立て幅 サイドクリアランス 損傷	0.03mm 0.8 ~ 1.0mm 57.90 ~ 57.95mm 0.2 ~ 0.7mm		OK/NG OK/NG OK/NG OK/NG OK/NG		
クランクベアリングの状態			OK/NG		
クラッチ プレッシャープレートの状態			OK/NG OK/NG		
プライマリドリブンギヤ クラッチボスの状態			OK/NG OK/NG		
フリクションプレート	使用限度2.8mm		OK/NG		
クラッチプレート 歪み	標準厚さ1.05 ~ 1.35mm 0.05mm以下		OK/NG OK/NG		
クラッチスプリング	使用限度30.0mm		OK/NG		
パラスウエイトギヤの状態 ベアリングの状態			OK/NG OK/NG		
トランスミッション 各ベアリングの状態 各ギヤの状態 シフトフォークの状態 シフトカムの状態 シフトシャフトの状態			OK/NG OK/NG OK/NG OK/NG OK/NG		
クランクケースの状態			OK/NG		
オイルポンプの状態 最大/最小ストローク	1.85 ~ 2.05/0.15 ~ 0.20mm		OK/NG OK/NG		
リードバルブの状態 シートとバルブの隙間 ストップの高さ	限度値0.2mm 標準値8.3mm		OK/NG OK/NG OK/NG		

Racer SDR Maintenance Interval 1/2

点検項目	走行 毎	千 キ ロ 毎	二 千 キ ロ 毎	必 要 に 応 じ	チ ェ ッ ク	異常無し	レ	調整	A	給油	L	点 検 日	
						修 理	締付	T	省略	P	前回点検日		
						交 換	×	清掃	C		前回～今回走行距離	km	
ピストン点検、清掃													
ピストン交換						当たりが完璧に出ているピストンは使用限度まで使う							
ピストンピン、小端部B/G点検													
ピストンピン、小端部B/G交換													
ピストンリング点検						2ndリングを使わない方がエンジンレスポンス、トルク							
ピストンリング交換						トップリングのみ使用の場合は更に短く							
シリンダーヘッド点検、清掃													
シリンダーヘッド締め付け点検													
シリンダー点検、清掃													
シリンダー締め付け点検													
シリンダー修正、交換													
Y.P.VSバルブ点検、清掃													
クランクシャフト、B/G点検、交換						点検2000km毎							
クランクケース内清掃													
クランクケース交換						歪み、クラック、クランクベアリング取り付け孔拡大等							
チャンバー点検、清掃													
サイレンサー点検													
消音材交換													
クラッチ全体点検、調整													
クラッチ交換													
ミッションオイル点検													
ミッションオイル交換						SAE30程度の4stエンジンオイルの方が抵抗が少ない							
シフト機構点検、給油													
スパークプラグ点検、清掃													
スパークプラグ交換						交換：500km毎 アルミ製のターミナルは使わない							
プラグキャップ点検													
バッテリーorコンデンサ機能点検						バッテリーは外して屋内保管、月に1度補充電							
キルスイッチ機能点検													
キャブレター点検、清掃													
リードバルブ点検													
燃料フィルター点検、清掃						流量不足にならなければタンク～コック間に追加							
燃料コック点検、清掃						負圧コックは使わない							
冷却水量、漏れ点検													
ラジエターキャップ点検						必要に応じ交換							
ラジエターフィン点検													
L.L.C交換						使わなくても2毎年交換							
ウォーターポンプオイルシール交換													
ラジエターホース交換						使わなくても2毎年交換							

Racer SDR Maintenance Interval 2/2

点検項目	走 行 毎	千 キ ロ 毎	二 千 キ ロ 毎	必 要 に 応 じ	チ ェ ッ ク	異常無し	レ	調整	A	給油	L	点 検 日	
						修 理		締付	T	省略	P	前回点検日	
						交 換	x	清掃	C			前回～今回走行距離	km
アクセルワイヤー清掃、給油													
スロットルホルダー清掃、給油													
クラッチワイヤー清掃、給油													
ドライブチェーン点検、調整、給油													
ドライブチェーン交換													乾燥後、ゴム質になるウェットタイプと呼ばれる物は使わない
スプロケット点検、交換													428は何かと不利ですので415又は520へコンバート
タイヤ空気圧点検、調整													チューブ仕様のタイヤをチューブ無しで使う場合はマメに点検
タイヤの状態点検													
ホイール取り付け状態点検													
ホイールベアリング点検													
ホイールベアリング交換													
スプロケットダンパー点検													
スプロケットダンパー交換													
ブレーキの遊び点検、調整													
ブレーキ引きしろ、踏みしろ点検													
ブレーキフルード量、漏れ点検													
キャリパー、ピストンの状態													
ディスクとパッドの間隙													
ディスクの状態													
ブレーキパッド交換													
ブレーキフルード交換													使わなくても毎年交換 D.O.T4
マスター、キャリパーインナー交換													使わなくても2毎年交換 キャリパーダストシールは外す
Fフォーク点検													
Fフォークオイル交換													
Fフォークオイルシール交換													ダストシールは外す
Rダンパー点検													
Rダンパーオーバーホール													
スイングアーム点検													
スイングアーム分解、給油													
リヤサス・リンケージ分解、給油													
ステアリングステム点検													
ステアリングステムB/G分解、給油													
シャーシ各部締め付け点検													
シャーシ各部亀裂点検													
シャーシ各部給油													
ワックス掛け、磨き倒し													磨くことによりクラック、ボルトの緩みなどが発見できる

点検、交換時期は使用環境、改造度合い、状況等により変わります(コースレイアウト、転倒して土砂がエンジン内に入った場合など)
 また、点検測定が前提であり距離はあくまでも目安に過ぎません。ノーマル部品を前提にしていますのでTZの部品等を使用している場合はそちらのマ
 ルに従って下さい。

ご注意

この資料は整備書を参考にして作りましたが、整備書の定期点検要領に沿って作っておりません。整備書の点検項目には現行では削除、期間変更されている項目が含まれています。作業点検、運行前点検などの用語も現行では使われていません。

この資料には整備書の定期点検項目に無い項目が存在し、存在すべき項目が削除され、一部の名称は通称へ変更しております。

実際の点検はメーカー、公の機関が発行している定期点検記録簿に則り実施して下さい。

この資料の点検記録簿は私的なものとしてお使い下さい。

点検記録簿への記入の際、2つ以上の作業を同時に行った場合は順位の高い方を記載します。

順位は、交換×、修理、調整A、締め付けT、清掃C、給油Lの順です

分解整備が伴った場合は で囲みます（分解交換の場合は×になります）

省略Pの本来の意味は走行距離により省略出来る項目（ブレーキパッドの摩耗など）に付けるものです。

以上、詳しいことは[国土交通省](#)のホームページをご覧ください。

点検、交換時期等は一般的な使用が前提となっています。従って著しく走行条件の異なる使用環境においてははその周期は短くなります（路面状況、天候、乗り手の技量、乗り方、体重等）

点検、測定結果を残すことで次回の目安になります。

私見の中でオーバーホール時期や交換時期が記してありますが根拠は全くございません。

バイクに対する要求度として、動けばよい、なるべくお金や手間は掛けたくない、快適に乗りたい、常に最良の状態で乗りたい、レースで使うとした場合「常に最良の状態で乗りたい」という方を対象としていますが、あくまで私見でありそれを保証するものではありません。

定期点検項目は安全運行上必要な事柄ですが、それ以外の事も書かれていますのでご注意下さい。



警告

整備内容には重要保安部品が多数含まれており、未熟な技術による分解整備は死亡事故に繋がります。

重要保安部品の分解整備を行った場合は安全な場所で十分な試運転を行い、その整備内容に問題がないか確認して下さい。不安がある場合は専門技術を有する整備工場へご相談下さい。

作者および配布者はこの資料を使用して生じた損害について一切の責任を負わないものとします。

作者はこの資料に不備があってもそれを修正する義務を負いません。

上記の事項に同意出来ない場合は本資料のご利用はお止めください。

バナー製作：Smail?

<http://yamaha-sdr.com>